人の動き（敬称略）

お悔やみ申し上げます

氏名	年齢	住所
福田信章	96歳	上萩山
高橋忠之	88歳	笠木
伊藤ミキエ	95歳	宮内
中島　秀	90歳	菅沢
山根義人	80歳	生山
加藤久子	76歳	新屋

（令和２年９月16日～令和２年10月15日受付分）

■世帯 1,990（±０）■人口 4,411（－４）
■　男 2,077（＋１）■　女 2,334（－５）

法令の改正により、外国人を含めた世帯数と人口を掲載しています。　令和２年９月末日現在

町長日誌

春に田植えをした稲作も大規模農家を残しほぼ終わり、田のけたには赤色のヒガンバナが咲き誇り、稲穂の黄色から赤色と変わってきました。自然の農村景観があります。台風も少なく安どしていますが、朝夕の気温差が大きくまた寒く感じる季節になりましたので、町民の皆様には体調管理に努めていただきたいと思います。

すでにお手元に届いていると思いますが、「続日南町史」が発刊となりました。平成26年から編集に取り掛かり、地域の皆様・行政の皆様をはじめとして多くの関係者の皆様に携わっていただき無事完成できましたことにお礼申し上げます。昭和34年から60年間の「地域編」と「行政編」を内容とするものですので町民の皆様には是非とも一読してくださることをお願いします。町の動きの中で、町民の努力と協力の姿を振り返ることができます。そして、未来に向けてのヒントが見つかることを期待しています。

これから寒い時期の到来となります。例年ですとインフルエンザの予防接種の時期ですが、今年はさらに新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、同時流行の懸念もあります。医療提供体制のひっ迫を避けることとインフルエンザの予防接種をより多くの皆さんに接種していただきたい目的でインフルエンザ予防接種費用を無償化とします。接種の日程は鳥取県西部医師会のご協力で10月19日からとなっていますので、早めの接種をお願いします。

また、気象庁の予報では赤道付近に「ラニーニャ現象」が発生しているとのことで、大雪になりそうとのことです。早めの雪対策に心がけましょう。

10月6日　記

日南町長　　中村　英明

観光協会通信

2020年11月号

日南町観光協会
TEL 82-1715

『日本最古の刀剣「古伯耆」ゆかりの地めぐり』を実施しました

9月26日、町観光協会にて『日本最古の刀剣「古伯耆」ゆかりの地めぐり』と題した町内ツアーを実施しました。

この企画は、前日の25日から町美術館で始まった「古伯耆物の系譜～伯耆における刀剣の歴史～」に合わせたもので、日本最古の刀剣「古伯耆」を作った刀工・大原安綱一門が、日南町で作刀および生活していたとされる説にちなんで企画したものです。

大原安綱は、日本初の刀剣で国宝となった「童子切安綱」を作った人物ですが、出自についての資料は少なく、県西部に数か所ある「大原」といういずれかの地で生活していたという説が専門家から有力視されています。

町内では下阿毘縁の大原が有力地とされており、道路脇には「伯耆安綱の里」という題字の看板が設置されています。なぜこの地なのかは、看板内に詳しく記載がありますので、興味のある方は訪れてみてください。

このように、町内の「古伯耆」ゆかりの地を巡り、実際の刀剣を観賞するという一日を過ごしていただき、約1000年前の平安時代にタイムトリップしたかのような不思議な気分を味わえたと評価をいただきました。

町観光協会では、今回のように町内の歴史・文化的資源を楽しんでいただけるツアーを今後も企画していきます。町内にお住まいの方も、慣れ親しんだ地域の魅力を再発見できるツアーに参加されてはいかがでしょうか。

▲大宮・阿毘縁地域を中心に巡り、美術館では研師の森井偲訓さんに刀剣について分かりやすく解説をしていただきました。